

科目	生体情報分析学	担当	林 久恵	履修学年	3年
時間数	90分×時限×8回(週1回)	履修区分	必修	単位数	1単位

【授業目標・到達目標】

生体情報分析学では、脳血管障害、運動失調、骨関節障害などの病態および障害について学修し、対象者の障害像を把握するために必要なADL評価および動作分析を理解できることを到達目標とする。

【履修注意】

1・2年次に受講した基礎医学、臨床医学、運動学の知識を活用しながら学んでもらいたい。グループワークを行うため、遅刻・欠席のないように注意する。

【評価方法】

演習(50%)・出席状況(10%)・発表 授業態度(10%)・レポート(30%)で総合的に評価する

【試験について】

試験は行わない

【予習・復習】

学修時間は1単位45分が文部科学省指針である。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要。

【教科書】

書籍名:「理学療法評価学 改訂第4版」(2年次に購入済み) 著者: 松澤 正 他 出版社:金原出版株式会社

書籍名:「姿勢・動作・歩行分析 第1版」 監修:臨床歩行分析研究会 編集:畠中恭彦 出版社:羊土社

【参考書】

「ベッドサイドの神経の診かた」南山堂、「理学療法評価学Ⅱ」中山書店

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1・2	ADL評価と運動学①	日常生活活動と理学療法、代表的なADL評価法(各種質問用紙とその特徴) 演習:健常者の動作分析(寝返り・起き上がり・立ち上がり動作)
3・4	ADL評価と運動学②	ADL評価の実際と動作分析演習:大腿骨頸部骨折患者・片麻痺の動作分析
5・6	歩行障害の理解	歩行障害の評価演習:健常者の立位・歩行の動作分析
7・8	症例検討	症例のADL評価と動作分析
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		